

平成25年度横浜国立大学法科大学院法学未修者コースA日程入学試験第2次選抜
小論文試験問題（試験時間2時間）

第1問 次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。
なお、問題文は、次の文献から引用しております。
桜井邦朋『日本語は本当に「非論理的」か 物理学者による日本語論』
(祥伝社新書、2009年)より抜粋。
抜粋箇所 3頁2行目～4頁4行目5字目
4頁6行目3字目～5頁8行目
22頁2行目～23頁6行目15字目
23頁7行目～25頁12行目

【問題】

- (1) 下線部A「相手は強いと思うので、しっかり戦わないといけないと思うから、頑張りたいと思います」について、筆者は、下線部B「同じ『思う』という表現をしながら、込められた意味が異なっている」と評している。
上記のAからUまでの「思う」との表現（「思います」との表現を含む。以下同じ。）は、それぞれ、どのような意味で用いられているのか、本文中の から までの用法を参考にしつつ、合計100字以内で説明しなさい。
(下線部Aに該当するのは3頁5行目2字目～6行目1字目、下線部Bに該当するのは4頁6行目3字目～33字目)
- (2) 下線部Aと同一の内容を、「思う」との表現を用いずに、70字以内で書き表しなさい。
- (3) 下線部C-1からC-4までに「論理的」との表現があるが、筆者は、ことば遣いが論理的であるためには、どのような条件が必要であると考えているか、30字以内で述べなさい。
(下線部C-1に該当するのは5頁1行目27字目～29字目、下線部C-2に該当するのは5頁3行目26字目～28字目、下線部C-3に該当するのは5頁6行目27字目～29字目、下線部C-4に該当するのは5頁8行目4字目～6字目)
- (4) 筆者の見解に従った場合、次の文は論理的であると言えるか、80字以内で論評しなさい。
「アインシュタインは、相対性理論を建設した偉大な学者であった。」
(「 」内の文章は、60頁7行目から引用)

第2問 次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。
なお、問題文は、次の文献から引用しております。
石原慎太郎「実存の希薄化」『平和の毒、日本よ』
(産経新聞出版、平成24年〔初出：産経新聞平成20年8月4日〕)
135頁2行目～139頁15行目

【問題】

- (1) 下線部Aの部分で、実存が希薄化する現代において実存を獲得する方法として筆者が主張していることについて、本文全体を踏まえてわかりやすく150字以内で述べなさい。
(下線部Aに該当するのは135頁10行目3字目～34字目)
- (2) 下線部B部分をわかりやすく200字以内で説明しなさい。
(下線部Bに該当するのは137頁9行目12字目～10行目33字目)
- (3) 下線部Cについて、なぜ「皮肉」なのか、「工学」という表現が用いられている意味を踏まえ、その理由を150字以内で述べなさい。
(下線部Cに該当するのは139頁14行目33字目～39字目)

(以上)